

令和 8 年 3 月 16 日
中山間地域支援・移住促進課

質問回答

「地域とつながる」富山暮らし体験事業企画・運営・広告業務委託公募型プロポーザルについて以下のとおり質問がありましたので、回答いたします。

質問①	参加者数 50 人は、1 回の実施での集客か。複数回実施してよいか。その場合、新規で 50 人獲得が目標か。
(回答)	地域側の受け入れのキャパシティなどの問題から、むしろ複数回に分けて実施する方が望ましいです。集客目標の 50 人は新規の獲得（＝同一人物の複数回参加は遠慮いただく）を考えています。

質問②	プログラムを実施し、集客目標が 50 名とあるが、プログラム参加者（＝実際に富山に来た人数）のカウントの仕方なのか。
(回答)	お見込みの通りです。

質問③	宿泊日数に希望はあるか。
(回答)	地域おこし協力隊インターン制度を活用するため、要件となる滞在日数は 14 日以上ですが、参加者の参加しやすさを考えて、下限の 13 泊 14 日を考えています。

質問④	補助はどのような形式を想定しているか。
(回答)	委託費に補助分を含めるため、委託事業者から参加者に支払っていただく形式を考えています。

質問⑤	本事業実施にあたり、新規ウェブサイトの立ち上げ・制作は必要か。
(回答)	仕様上、必ずしも必要とはしていませんが、応募者や応募検討者がプログラムの魅力を知ることや疑問点を解消できるような情報、申し込みフォームを網羅的に掲載するサイトは、ユーザビリティの観点から望ましいと考えています。

質問⑥	県移住 HP のサーバーに本件の LP をアップすることは可能か。
(回答)	可能です。

質問⑦	LP に参加申込フォーム、問い合わせフォームの機能を載せる想定ですが、サーバーとの互換性がありますか。
(回答)	サーバーの仕様については、受託事業者決定後に共有します。

質問⑧	プログラム周知にあたり指定の SNS アカウントはあるか
(回答)	<p>指定はありません。効果的なアカウントを提案してください。ただし、富山県及び「くらしたい国、富山」推進本部では、以下の SNS アカウントを運用しており、連携可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやま移住 Facebook (https://www.facebook.com/toyama.iju/) ・とやま移住 Instagram (https://www.instagram.com/toyama.iju/) ・とやま移住 X (https://x.com/toyama_iju) ・とやま移住 note (https://note.com/toyama_iju) ・とやま移住 LINE (https://page.line.me/236wnzxc?openQrModal=true) ・地方移住の情報発信【富山県公式】 Instagram (https://www.instagram.com/chihouijuu_info/) ・地方移住の情報発信【富山県公式】 YouTube (https://www.youtube.com/@地方移住の情報発信) ・地方移住の情報発信【富山県公式】 TikTok (https://www.tiktok.com/@chihouiju_info) ・富山で何しとるん YouTube (https://www.youtube.com/@nanishite_toyama_official) ・富山で何しとるん Instagram (https://www.instagram.com/nanishite_toyama_official/)

質問⑨	過去に実施された同様の案件について情報を共有いただく事は可能か。 (良かった点、悪かった点等)
(回答)	<p>令和 6,7 年度に「とやまマッチングツアー」の成果と課題をお示しします。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 30 人 (予定) の移住検討者が事業に参加し、アンケート結果は、概ね好評。 ・ 参加者の中には既に「二地域居住を開始、本県で起業」、「地域おこし協力隊になった」がいる。 <p>【課題点】</p>

・過去事業では、体験期間中に就業体験をしていただいていたが、滞在期間の1～2週間のみの就業先を見つけることに苦慮しており、それに伴い参加者数が限定されていた。

・体験系の事業では、受入側のサポートが満足度を左右させるが、過去事業では事業者と県の間に入って参加者をサポート（＝中間支援）する役割が不足していた。

質問⑩	<ul style="list-style-type: none">・地域おこし協力隊インターン制度だが、既存の実施している自治体との連携で良いか。それとも新しく関係を構築すべきか。・地域おこし協力隊インターンの実施に要する経費について、本事業費とは別に予算があるのか。
-----	--

(回答)

・富山県の地域おこし協力隊としてのインターンという位置づけのため、既存の実施している自治体との連携をするイメージではありません。

・本事業費の中に①地域おこし協力隊インターンのプログラム等の作成に要する経費と②地域おこし協力隊インターン参加者の活動に要する経費を50人・14日参加分の費用を含めています。